



新浦安フォーラム

—スウェーデンの質の高い介護を浦安で実践されていますが、スウェーデンの介護はどういうものですか？

私の曾祖父の時代は、人里離れた場所であり、ベッドが並ぶ相部屋、ケアの内容はといえば注射とオムツ交換、床ずれなどは当たり前でした。でも1970年代の祖父の時代に入ってスウェーデンの施設内に生活空間が持ち込まれ、劇的に変わ



この人に聞く
複合型ケアコミュニティ舞浜俱樂部
 代表取締役社長 グスタフ・ストランデルさん

—日本との比較ではどうですか？

21年前に交換留学生として日本に来て、これまでに約300カ所の施設を見学しました。個室が

—個別ケアの導り入です。場所も住宅街に建設され、個室でプライバシーが守られ、共有スペースができたことでコミュニティが生まれ、寝たきり老人がなくなりまし

**豊かな日本を作り上げた人たち
 老後は自分たちの生きたいように**

—日本とスウェーデンを入れ、地域密着型の個別ケアを目指すなど日本も変わってきました。

—舞浜俱樂部の運営方針を教えてください

—老後施設の利用を

—個別ケアの導り入です。場所も住宅街に建設され、個室でプライバシーが守られ、共有スペースができたことでコミュニティが生まれ、寝たきり老人がなくなりまし

◆舞浜俱樂部とは

浦安市でスウェーデンのノウハウを取り入れた介護福祉施設を運営している。2004年に有料老人ホーム「富士見サンヴァーロ」を開設、2009年に小規模多機能施設と認知症専門のデイサービス併設した複合型介護福祉施設「新浦安フォーラム」を開設した。

誰にでもすくひけるブツネ楽器を用いて、人間の能力の維持・保持を目指すブツネ音楽ケアや、利用者一人ひとりの好き嫌いを把握した調理などスウェーデンと日本の良さを融合した施設運営が注目されている。

☎ 304・2400

グスタフ・ストランデル氏プロフィール

1974年	生まれ	スウェーデン出身
1992年		交換留学生として早稲田大学高等学院で学ぶ
1999年		在日スウェーデン大使館に研修生として勤務
2000年		ストックホルム大学卒業
2003年		スウェーデン福祉研究所の所長就任
2008年		スウェーデン・クオリティケアAB顧問就任
2009年		アジアにおける活動の立ち上げに従事 株式会社舞浜俱樂部 総支配人に就任 「私たちの認知症」(幻冬舎) 出版
2012年		舞浜俱樂部 代表取締役社長に就任

—大学の卒論テーマが「理念に基づいた介護の質」だそうですが、その結論は？

—老後施設の利用を

を開いています。個人見学も受け付けています。日常提供している食事を食べてもらい、ありのままを見てもらっています。